

常磐文藝

短歌 高橋曉霜

■電柱の片えにそだつ櫻花のうす白く見ゆ霧こめる夜に。

■前山の堤に櫻六本の花開きけり雨後の晴朝。

■公園の、櫻花の中に黄色葉の見ゆるも心新しきかな。

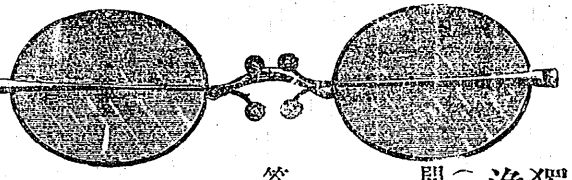
■高山の櫻花の下に立ち居れば吹きくる風にえりをたずすも。

■友月の山に遊びて櫻木のうち歩み居れば身体涼しも。

■よき友と友月山に遊ぶれば千鳥足の人おちこちに見ゆ。

■よき日和、櫻花の下に筵しき酒のみをると楽しく見ゆれ。

—一四、四、一五—



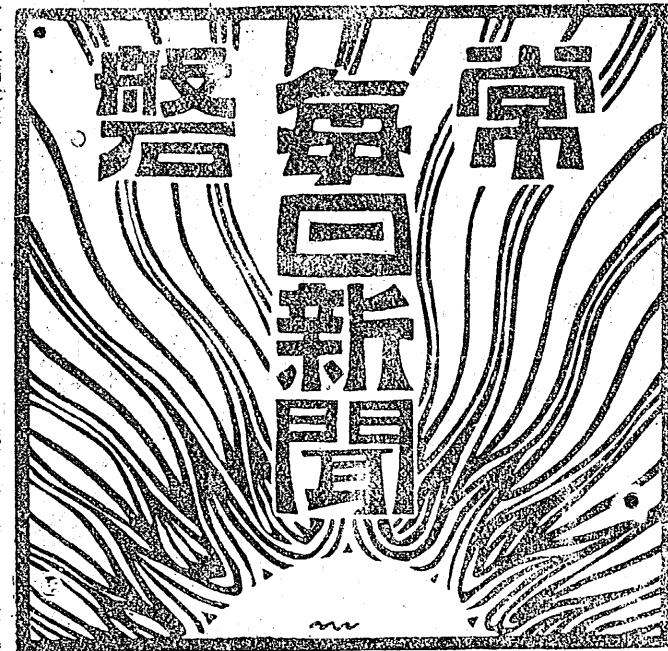
逸獨 高級眼鏡 (メニスカス) 問「メニスレ」

「メニスレ」を何んぞ皆さんがお好みになるのですか

答「掛け心地が良くて眼や脳へは絶對弊害がなく晴々するからです」

平町一丁目 常磐時計店 電話三三九番

弊店眼鏡部は各國品多數取扱へ電力應用、速時調整します



發行兼編輯人 川崎文治

印刷所 常磐印刷局

電話 三三九番

平町一丁目

刊夕日一月五

現代映畫小集品公開

山の悪魔 森林大活劇 歌川八重子・小池春枝共演

山河山 現代劇 高蘭子・瀨川銀枝・小池春枝共演

伊賀のあけぼの巻 時代劇 (最終篇) 嵐寛寿・尾上紋十郎・一派大演

有聲座 電話四四六番

平町會議員候補者トシテ

渡邊貫一君

最適任者ト信ジ推薦シ協力其當選ヲ期ス

一丁目有志

一丁目青年有志

平町有志一同

醬油と味噌

福島縣平町 鹽屋山崎本店

電話長二二七番

振替東京一九七五五番

上野東車坂町四三

東京支店

電話長淺草五七二八番

振替東京六八三二二番

常磐論壇

田中男の前途に斯ふした暗礁

政界通人

(一)

處で金の問題に就て眼前の點に相當の成算は出來たであらうか飽くなき黨員の政權慾を満足せしめ得るや否や第一疑問である田中男の第一着手せねばならぬ點は次の政權奪取であるか此の儘に黨員を入閣せしめて萬一内閣の倒壊した場合に於て田中男が直に政權にあり附くことは困難なる事情に於て居るればとて内

加茂超特作大名篇

問題の妖婦劇 明治の女賊

連続時代劇 全十二篇

高橋お傳 全二十四卷

全篇悉く美の極 悪の極 極性に悶ゆる慘虐の血潮

本映畫上映するや白熱的好評... 愈本週にて快結

最終連続活劇 **死の渦卷**

全十五篇三十一卷

本週六卷上映

松竹蒲田超特作大名畫

久かた振いて... 川田芳子 運命 **罪なき罪** 全七卷

●女の愛は男を殺すものか ●男の愛は女に救はるものか

五月一日ヨリ 松竹キネマ 特別公開直 **平館**

子供さん入用

高等小學校卒業程度

給料手當等詳細面談

平驛前 **丸通運送店**

(二)

閱の餘命を見送りこれと手を切らんか解散の行はるゝ場合其の黨の衰頹は已むを得ざるべくさればとて本黨との提携も床次總裁との地位上の干係上容易に行はれざるべく犬養氏の如き或はこれを取り巻く連中の如きこれ等と提携するも全く問題とならざるべく而も動もすれば憲政會と本黨との提携の可能性充分なるに於ては田中男の出様によりては如何なる事態を現出するも計るべからず旁々田中男の立場は今日の處その前途に幾多の困難の横はるれば近き將來に於て政權を握るが如きことは容易ならざる

小僧さん入用

喰べてたいし

有聲座隣

貸家... 仲間町

湯屋向 廿五圓

賣地 五丁目地付賣家

貸地 廣島縣本丸二ノ丸

加藤營業所

電話三五五番

平白銀町

田邊機械店

電話二七六番

粹上品な履物は 御求めの際は

是非

三井百貨店

平町二丁目電話六五番

一冊の代金で 御希望通りな **五冊の雑誌**が **自由に讀める**

平町長崎町三五 **川崎文庫**

(市込次第規則書進呈)

農家副業の生産を保護する唯一の機關

平人士の理解を望む 尾形産業主事語る

農村振興の一助として農家副業の生産を保護する目的を以て水野郡長が主唱となり過般設立された石城販賣利用組合は其後創立委員長を山崎興三郎氏と定め尾形産業主事が是れが

達成の

爲め種々準備中であるが未だ半町の人々は右の組合に對して餘り理解のないのを遺憾とし尾形産業主事は語る「目下郡内各町村に五百名の創立委員を囑託して種々勧誘中ですが一名の委員が廿名宛の組合員を募集するものとすれば

全部で

一萬人となり其人々が一人平均四株宛持つものとして四萬口に達しますからそうすれば資金が百廿萬圓に達します最初は事業設備費として十萬圓位を要しますが是れには國庫補助が四割、縣からも一割の補助があります爲め實際の金は五萬圓あれば

第一回

の事業を遂行するに充分です、先づ最初の事業としては蠶の倉庫や乾燥場を設けて是れが市價の保持に努め進んでは水産副業等にも保護の手を染める積りで居ます此機關を生産物品に對する金融の便に備ても加入者は非常な

異議申立は半数却下か

四日に確定

平町に於ける町會議員選舉人名簿に關し町制第十八條の異議申立をなしたる小松正治氏外九名の決定町會は既報の如く去る廿八日開會夫々審議の結果井上茂作氏外六名の委員附託となり之れが確定町會は来る四日開會の筈であるが十名の異議申立者中某々五名は異議の申立相立たすと決定しそれ以外の五名だけ名簿に追加登録さるゝらしい雲行であると

便宜ごと

利益がある事ですから是非是れが實現を望まねばなりません、それから一口は卅圓で第一回の拂込みが五圓、滿四ヶ年半を以て全部の拂込みをする仕組みですから加入者としても別段苦しまずに募入の方法を構する事が出来やうと思ひます

研古から

神谷氏決定

昨日漸く承諾

研古町にては先般豫選會を開き兩町より夫々一名宛の候補者を出馬せしむる事となり第一候補に山崎興三郎氏、吉村喜代治氏、第二候補佐々木佐一郎氏、神谷玄佐雄氏第三候補永山富廣氏、佐々木節次郎氏、と決定夫々順を追ふて交渉を進めたが山崎氏以下何れも是れを承諾せざる爲め一昨日更らに協議會を開き滿場一致神谷玄佐雄氏を擁立すべく意見が纏まつた爲め昨日交渉の結果同氏も漸く納得し出馬の意を決するに至つたと

松崎氏出馬で

得票に遺算

丹野氏大打撃

二丁目からは丹野榮二郎、柏原真吾の兩氏名乗りを舉

舊平炭礦を

三井が經營

石城郡箕輪村大字利所在元大日本炭礦經營の平炭礦は財界不況の結果一昨年遂に休山の止むなきに至つたが採算上計劃樹立されたるものが三井礦山の藤岡常務取締役は本社技術者來平詳細なる調査を遂ぐるに共に卅日平町各官衙警察署を訪問懇談する處あつたが近く復活の見込あるもの、如く期待されてる

探し當てた

福連の人々

既報本日から始めた勸業博

既に早くから運動を開始したが突如新川町より松崎喜久三郎氏が出馬する事となつた關係上丹野氏の得票に大違算を來す事となり同氏危ふしと傳へらるゝに至つたが丹野氏は人も知る如く大瀧發電所問題にては反

山崎氏の仁侠に依り

警城訓盲院の敷地

買収が決定して直に起工

平町財團法人警城訓盲院は腐朽且狹隘のため字堂の前に敷地を求め移轉新築を計畫し四百坪の敷地買収に關し地主山崎興三郎氏と交渉中であつたが同氏もこの計畫に賛同し一坪三十圓の安値で買収を快諾且つ二千圓を寄附した上二ヶ年賦で之れに應ずる事に決定したので同院の理事者は山崎氏の仁侠的行爲に感じ直ちに起工する事となつたが工費三萬圓は各町村の寄附で若し不足を生ずる場合は舊校舍の敷地及び建物時價一萬圓を賣却して充當し本年中に完成の豫定である

私有林補助金

石城郡に對する本縣よりの十三



家庭庭園

よめなめし
米は洗つて水気をきり、鳥は細くきり、よめなめし鹽を加へた熱湯の中できつとゆで冷水にとつてあくぬきを

對同盟會の副會長として熱心活動せる功績は容易ならざるものあり此際二丁目の面目よりしても同氏の必勝を期せざるべからずと爲し參謀白土四郎氏を始め同區有志は結束の歩を固めて勢力の挽回に努めて居る

仲々苦戦な
花澤侯補
昨日出馬決定
北目胡摩澤を地盤とする第十五區は花澤五五六氏公認されたが辭退して受けない爲め昨日同區有志が協議の結果水道問題犠牲者の一人である花澤久一郎氏を擁立する事となつた、而して同區は政友三分、憲政七分の勢力であつて政友派は一致して居ると雖も憲政派は中立組と叶多組とに分れ其間大瀧問題の利權屋が喰ひ込んだ形跡があるから花澤氏とす。炊き方は釜に水と調味品一切を入れてにちたたる時に鳥肉を入れ、更に沸騰した時に米を加へてよくまぜ合せ、蓋をし、普通の米のやうに炊き、火をとめてから二十分間むします。よめなめし水を切り、細くきざみ、御飯をぬき、細くきざし、よめなめしを入れます。

花澤侯補

昨日出馬決定

本縣農事試験場委託の甘諸紋羽病豫防試験地として石城郡大浦村大字下仁井田地内五畝歩を選び根本直之助氏に擔當せしむる事となつた由

甘諸病試験

大浦村に設く

本縣農事試験場委託の甘諸紋羽病豫防試験地として石城郡大浦村大字下仁井田地内五畝歩を選び根本直之助氏に擔當せしむる事となつた由

無錢でタラ腹

平署に訴ふる

石城郡赤井村大字赤井鈴木傳(三)は昨日午後三時平町一丁目タイラカフェにて三圓餘の無錢飲食を爲し訴られ平署にて取調中

警中記念植林

縣立警城中學校にては五月十日

の聖上陛下銀婚大典記念のため校庭並に附近堤防に植林をなすと

酒井氏の雅懷

先般勿來關建碑式に臨んだ平町

醫師酒井國三郎氏が名古屋關義家公追懷と題して一句「花吹雪戰塵拂ふ古關門」

東京朝日新聞連載小説
壹萬圓懸賞
大地は微笑む
前篇七巻
第一等當選の榮冠を擔へる大映畫東亞甲陽派大作
連續現代劇 全十四巻

佐平次 鮮血の手形巻
捕物帳 環歌子主演
市川幡谷、環歌子主演
抱腹失神 悲戀哀痛
時代正悲劇
無宿者 全六巻
落涙凄々 凄慘戰慄
二日ヨリ
東亞 平劇場
キネマ 電五五五